

この事業は兵庫県瀬戸内海環境保全連絡会助成を受けています

## 武庫川縦断ハイク⑧ 仁川から河口まで

第 29 回武庫川エコハイク

090808 エコグループ・武庫川

**武庫川** 全長 65km、流域面積 500km<sup>2</sup>、篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門（むこみなと）」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。

**仁川駅** 大正 10(1921)年、阪急西宝線(西宮北口—宝塚間)が開通、仁川に駅が設置された。阪急神戸線(大阪—神戸)開通は前年の大正 9 年。

**弁天池と小仁川** 弁天池は仁川大池といわれた。小仁川は今は弁天池に注ぐが、昭和 10(1935)年洪水により阪急鉄橋が倒壊したことから、小仁川を弁天池に導水して流下させるようになった。このとき今の競馬場付近は土砂で埋まったという。今、小仁川の堤防から北を望むと理解できる。

**阪神競馬場** 阪神競馬場は明治 40(1907)年開設の鳴尾競馬場が第 2 次大戦中に川西航空機に売却され、更に競馬の一時停止によって中断していた。戦後昭和 24(1949)年に現在の地に新しく開設された。現在は日本中央競馬会が所有し中央競馬を開催している。

**仁川** 西宮夷神に山幸を奉ずるに贄部(にえぶ)に住んでいたことから贄川(にえかわ)が訛ったものか、天井川で大雨の時にしか流れないにじみ川からとか言われている。六甲山頂近く石の宝殿の南側に源流を持ち、甲山の北側を通り、仁川溪谷を抜けて流れる。暴れ川仁川の河川改修が完成したのは大正 10(1921)年。

**百間樋** 武庫川新橋の下流に百間樋井堰があり、武庫川右岸の農業用水を取水する。仁川の底を暗渠で横断し下流に送水する。横断部分がおおよそ百間あるので百間樋と呼ばれる。現在は西宮市上水にも使用される。百間樋公園の下を流れ公園南側に排出される。

**田近野(たちかの)** もと武庫川対岸の西昆陽(尼崎市)の一部であったが延宝 8 年の武庫川の氾濫により分離した。昭和 44(1969)年武庫川河口の対岸の丸島(平左衛門新田)と交換され、西宮市となった。

**武庫川との合流点** 仁川のほか武庫川左岸の宝塚市内を流れる川西川も合流する。

**武庫川サイクリングロード** 一里山町から東鳴尾町まで全長 7.1kmのサイクリング専用道路。

**髭の渡し跡** 西国街道の渡し跡、左岸(尼崎市)側に常夜燈、庚申塚が残る。

**床止工** 河床の土砂が流出しないように設けられている施設。ここから河口まで 7 箇所ある。

**常松中継ポンプ場** 左岸にある武庫川広域下水道の中継ポンプ場(以下中継ポンプ場は同じ)。宝塚市、西宮市、尼崎市の広域下水道で河口の浄化センターまで送る。

**甲武橋** 国道 171 号線が渡る。武庫川の治水計画の基準点。

**甲武橋水位観測所** 甲武橋下流にある。

**瓦木中継ポンプ場** 阪急電鉄橋梁上流右岸にある。武庫川下流広域下水道の施設。瓦木の地名は武庫川氾濫原の「河原」木から来ているといわれる。

**中新田浄水場** 淀川から引水する西宮市工業用水の浄水場。

**水位標** 新旧の水位標 新田水位観測所と文久元(1861)年建立の水位標(復元)がある。

**守部の渡し跡** 伊丹から西宮に当たる脇街道の一つ「津門の中道」の渡し。

**南武中継ポンプ場** JR東海道線橋梁上流左岸にある。

**枝川** 弘治 3(1557)年の武庫川氾濫により枝川ができた。更に元文 5(1740)年申年の枝川の氾濫で申川ができた。明治に入って 29, 30, 36, 38 年と連続して氾濫したため武庫川改修が必要となり、枝川、申川は廃川となり、埋め立てられ、大正 12(1923)年に竣工。この結果土地 81.7 ヘクタールで工事費 100 万円を含めて 410 万円で阪神電鉄に売却された。

**枝川樋門跡** 旧枝川締め切りにより残された樋門跡。

**旧枝川跡** 阪神電鉄が旧河川敷を一括譲り受け、甲子園地区住宅開発、甲子園球場、遊技場などを作った。県はこの売却代金で武庫川改修、国道 2 号線建設に伴う武庫大橋の建設に当てた。

**鳴尾浄水場** 西宮市南部に給水する浄水場水源は井水。

**旧甲子園ホテル** 昭和 5(1930)年帝国ホテル支配人林愛作の理想に基づいて建てられたリゾートホテル。建築家フランク・ロイド・ライトの弟子遠藤新によって設計されライト流の空間美学を忠実に受け継いだ建築。現在は昭和 40(1965)年に武庫川学院が譲り受けた上甲子園キャンパス甲子園会館となっている。国指定有形文化財。

**武庫大橋** 国道 2 号線に架かる橋。これまで旧国道に頼っていた東西幹線を大動脈に帰るため現在の 2 号線が建設され、これに伴い大正 15(1926)年完成。全長 210m。景観に配慮した近代土木遺産(平成 18 年度)。親柱、バルコニーなどに大正モダニズムが各所に残る。

**小曾根水位観測所** 武庫大橋下流にある。

**西新田の渡し跡** 中国街道の渡し。

**武庫川橋** 旧国道(中国街道)にかかる橋。

**阪神電鉄橋梁** 橋梁上に武庫川駅がある。武庫川の嵩上げが計画されている。

**潮止堰** 海水の遡上を防止するために設けられ、平成 5(1992)年改築され現在は可動堰。

**大庄ポンプ場** 南部橋下流左岸にあり、尼崎市営の雨水の排水ポンプ場。

**武庫川終点** 阪神高速道湾岸線橋梁下右岸側と同橋梁少し上流の左岸を結んだ線が武庫川の終点。

**防潮堤** 昭和 25(1950)年阪神間を襲ったジェーン台風による高潮で尼崎市および西宮市南部は大きな被害を受けた。その後防潮堤が築堤された。

**阪神武庫川線** 阪神武庫川駅と須崎を結ぶ武庫川線に昭和 19(1944)年に川西航空機への輸送のため開設された旧国鉄線(西ノ宮～鳴尾・現須崎)が乗り入れ。狭軌と広軌の 3 本のレールがあった。その後浜甲子園団地が建設されるのに伴い武庫川団地前駅まで延長された。

「語り部ノートにしのみや」、「町名の話」「角川日本地名大辞典」ほか参照

コープともしびボランティア振興財団からの助成により作成